



COP26報告と自然エネルギー導入について



講師 **中野渡 旬 氏** (元メルク(株)新規事業開発グループマネジャー)
1948年十和田市生まれ。金沢大学物理学科卒業、茨城大学大学院修了後、アルプス電気、メルク(株)の研究所勤務。液晶ディスプレイの開発、リチウムイオン電池、太陽電池などの開発に関わる。

2021年10月英国で開催された第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)で合意された気温上昇1.5°C目標の2030年達成のためには、新しい太陽電池、省エネの技術などが必要になります。本講演ではペロブスカイト太陽電池の可能性、木製サッシを利用した省エネハウス、ソーラーシェアリングおよび縦型風力発電の可能性などについて考えていきます。

日時 2022年12月18日(日) 15時00分～17時00分

会場 駅前記念会館 集会室 (弘前市駅前3丁目4-5)

駐車スペースには限りがありますのでご注意ください。

参加費 300円

※会場では新型コロナ感染防止対策を実施します。みなさまにも十分ご配慮の上でご来場下さい。

主催 核燃・だまっちゃおられん津軽の会

お問い合わせ 核燃・だまっちゃおられん津軽の会事務局

(永瀬範明 TEL 0172-39-3535/E-mail: snaga@hirosaki-u.ac.jp)

